



11月24日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ 
東地申第21号

【田町運転区】団体交渉を行う!

1. ダイヤ改正後出勤確認から乗り出しまでの準備時間が2分減少した理由を明らかにすること。

回答:安全・安定輸送を確保しつつ、働きやすさの向上を図りながら見直した。なお、必要な労働時間は確保している。

(組合)ダイヤ改正以降出勤確認から乗り出しまでの作業がダイヤ改正前と変わらないがどのように2分減算したのか明らかにすること。

(会社)乗り出し時間に関しては最遠の場所から計算している。また積算した時間の見直しによりトータルの時間の差で2分減算した。

(組合)2分の減算により、社員の準備時間は厳しくなった。社員の努力で時間を確保していることは理解していただきたい。

(会社)努力していただいていることは理解している。

2. 国府津車両センターから出区便乗における徒歩時間の算出基準について明らかにすること。

回答:安全・安定輸送を確保しつつ、働きやすさの向上を図りながら見直した。なお、必要な労働時間は確保している。

(組合)休日130行路明け場面で2830Yに出区便乗後国府津駅から担当している。起床点呼(8時51分)から出区便乗発車時刻(9時05分)まで14分点呼時分は2分と計算すると徒歩時分は12分となる。構内本部から運転台まで12分かかることから時間に余裕がない。また入信開通時刻も30秒ほどずれることもある。更に構内運転士は便乗運転士乗車しているかの確認作業も行わない。12分の徒歩時分では作業的に危険であることから再度検証を行うこと。

(会社)横浜支社に確認を行った。指定通路(安全通路)での計算を行っている。横浜支社には貴側の主張を促していく。

3. 平日の来宮駅構内、早川駅構内での折り返し作業を増加させること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

(組合)技量維持や新人養成のため行路の平準化を検討すること。

(会社)今後、国府津運輸区と意見交換を行っていく。

4. 平日115行路の520Mが平塚駅増結時における入換車両の据付時間を明らかにすること。

回答:入換時刻については駅と調整し設定している。

(組合)現行の作業を行うと1分程度の遅れが発生する検証を行うこと。

(会社)5031Mが通過後のルート構成であり、遅れの原因は調査中である。横浜支社には確認をする。

【設備】

1. 国府津駅下り着後、短編成におけるエンド交換後の出発信号機の視認性が悪いため対策を講じること。

回答:臨時列車等の設定の際は、必要な対応を行っていく考えであると聞いている。

(組合)E257系5両の臨時列車において視認性の問題を把握し改善を行うこと。

(会社)視認性の問題については把握をしている。今後は停止位置指示合図を掲出して対応していく。

2. 国府津駅8番線からの安全通路(東京支社)の設定の経緯を明らかにして公道上での安全対策を講じること。

回答:指定通路については総合的に勘案した上で決定している。引き続き状況を把握していくとともに、関係箇所と調整していく考えである。

(会社)実際に現場に行き、危険なことは把握している。関係自治体との調整もある。今後も連携をしながら改善に向けて検討していく。

他支社との関係はありますが、安全・働きがいを求め職場から声を出そう!